

2025年度 施策マネジメントシート【2024年度実績評価】 作成: 2025 年 6 月 23 日

施策番号	施 策 名	子育て環境の充実	基本目標	誰もが健康で自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり			
			政策名	安心して子育てできるまちづくり			
	主 管 課	子育て支援課	課長名	佐々木 雅之	内 線	168	
	施策関係課						

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意 図				結 果		
子どもの健やかな心身の成長を促すとともに、教育・保育相互の子ども情報の連携、保護者への教育情報の円滑な提供を促進します。		子ども、保護者		子どもの健やかな心身の成長・教育・保育相互の連携が進み、保護者への教育情報の提供がスムーズになされる				保護者が安心して子どもを預けることができる		
成果指標		説明	単位	策定時(基準値)	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	2026年度実績	2026年度目標	
①	保育所の保育サービスに満足している保護者の割合	保護者アンケート	%	94.8 (R3)	91.2	97.7			95.0	
②	保育所待機児童数	実績数	人/年	0 (R3)	0	0			0	
③	安心して子育てができる環境であると思う町民の割合	住民意識調査	%	88.6 (R3)	86.4	88.3			90.0	
④										
成果指標設定の考え方		①は、町内保育施設を利用する保護者アンケートの結果を成果指標として設定。 ②は、保育所待機児童数ゼロを継続するため、成果指標に設定。 ③は、町民を対象とした住民意識調査の結果を成果指標として設定。								

2. 施策の事業費

	策定時決算	2023年度決算	2024年度決算	2025年度決算	2026年度決算
施策事業費（千円）	748,099	811,855	869,596		

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察							
①2024年度の 成果評価 (前年との比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した	想定され る理由	成果指標①は増、成果指標②は0を継続、成果指標③は微増。 成果指標①は、ここ3年間下がりが続けたが、原因となっていた特定施設の満足度が大きく改善したことにより、指標全体も上昇した。アンケート回答率も大きく上昇しての結果であり、一定の信憑性がある。				
	<input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった						
	<input type="checkbox"/> 成果は低下した						
②第5期総合計 画後期実施計画 (2026年度)の最 終的な目標達成 状況	<input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成でき る	根拠 (理由)	・成果指標②については、保育人財の確保状況が直結する目標であるため、多様な支援策を講じる中で、効果測定しながら進めていく必要がある。 ・成果指標③については、年度によるばらつきはあるものの、目標値達成が見通せない。現在育児中の回答者のみではないため、「地域全体として、こども・子育てに寛容で協力的な雰囲気」を高めていく啓発がさらに必要であり、広報誌掲載などにより実施中。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難し いが、現行事業の見直しや新規事業 の企画実施で目標達成は可能						
	<input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施 をしても目標達成は難しい						
(2) 施策の成果評価に対する2024年度事務事業総括							
①施策の成果向 上に対して貢献 度が高かった事 務事業	保育事業	②施策の成果向 上に対して貢献 度が低かった事 務事業					
	町立保育所運営事業						
	子どもセンター運営事業						
③事務事業全体 の振り返り(総括)		・「保育事業」「町立保育所運営事業」→私立の認可保育所や認定こども園、小規模保育事業所、幼稚園のほか、町が2か所の保育所を運営するなか、多様な保育ニーズに応じており、待機児童ゼロを継続している。町独自の副食費の無償化に加え、令和5年度には全施設において使用済み紙おむつの施設処分を実現している ・「子どもセンター運営事業」→町内2か所の子どもセンターとみなみっ子児童館について、放課後や長期休み期間を有意義に過ごせる安全安心な場所として運営。上美生地域においては補助事業として学童クラブの運営を支援。令和5年度からは市街地に新たな民間放課後児童クラブが開設され、社会資源が充実している					
(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定時との比較)							
担当課 評価	計画策定時の基準値が高く、数値的比較においては「維持」と判断する。 一方、待機児童ゼロを継続するための対策としては、従前の合同研修会に加え、町長と保育事業者との意見交換会、保育士合同就職説明会の開催と強化し、7年度の新規事業へと繋がっている。	進捗結果	A	B	C	D	E
						○	

A: 実現した      B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した      C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した  
D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した      E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	令和6年度に、本町の子ども・子育て政策を総合的に推進する計画である「子ども・子育て支援事業計画」の次期計画(7年度～11年度)を策定。 本計画は、国の「こども大綱」や「都道府県こども計画」を勘案した「市町村こども計画」として一体的に策定するとともに、「母子保健を含む成育医療等に関する市町村計画」としても位置付けるもの。 少子化の進行や晩婚化・晩産化傾向が続く中で、安心してこどもをうみ育てることができ、未来を担うこどもが健やかに育つ環境づくりや、子育て支援体制の整備に取り組むとともに、さまざまな事情や背景の家庭に対応した相談・援助体制の充実と、妊娠から出産、子育て期に至るまでの切れ目のない支援を実践する旨を規定。  ・令和5年4月より、入所児童不在により、上美生保育所が休所となっている ・令和5年度末をもって小規模保育事業所(1事業者)が撤退し、社会資源が減少したが、他事業所の定員増により受入枠は確保している ・一方、出生数は減少傾向ながら、特に0歳児の入所需要が増しており、待機児童ゼロ継続のためには、保育人財の確保を含めた対策強化が求められる
この施策に対して住民・審議会・議会からどのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。	・昨年度、総合計画審議会より今後の取組に対する意見として、「放課後児童クラブ等でのおやつを提供を再開してほしい。」旨が付されており、希望者のおやつ持ち込み(預かり)について試験実施を予定 ・昨年度、総合計画審議会より今後の取組に対する意見として、「保育士が安心して働ける労働環境を整えてほしい。」旨が付されており、2か月毎に開催する保育施設連携会議において議論を進めるとともに、7年度の新規事業へとつなげている

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たに取組むべき課題)

後期実施計画における施策の方針を「子どもの健やかな成長を促すとともに、教育・保育相互の子どもの情報の連携、保護者への教育情報の円滑な提供を促進する」としており、保育人財確保による保育基盤の確保を前提に、「第3期芽室町子ども・子育て支援事業計画(芽室町こども計画)」に沿った取組を進めていく。  なお、第3期計画における策定のポイントは次のとおり ・「こども大綱」「都道府県こども計画」を勘案した市町村こども計画として策定 ・保育を必要とするすべてのこどもが、質の高い幼児教育・保育を受けることができること ・妊娠から出産・子育て期に至るまでの切れ目のない支援を実践し、すべての子育て家庭がそれぞれのニーズや状況にあった子ども・子育て支援施策を円滑に利用することができること ・妊娠・出産・子育て期における支援とライフステージに応じたこどもの育ちを支える切れ目のない支援体制を構築することで、親子の生涯に渡るウェルビーイングの基盤を培うことができること
---

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	成果指標の達成状況、達成していないが高いパーセンテージであることを踏まえ、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A:実現した  B:(後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した  C:(後期実施計画策定時と比較して)前進した  D:(後期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した  E:(後期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	庁内評価同様に前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	・保育士の人材確保は急いだほうが良いと思う。 ・保護者の方の要望も色々あるが、よりニーズにあったものを実現させていただきたい。 ・保護者のニーズにも寄り添ってもらいたいが、まずは子どもの心身の健やかな成長が大事である。	A:実現した  B:(後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した  C:(後期実施計画策定時と比較して)前進した  D:(後期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した  E:(後期実施計画策定時と比較して)後退した					